

USHIO

株主通信

第61期 中間

[2023年4月1日～2023年9月30日] 2023年12月発行

CONTENTS

- 2 社長メッセージ
- 3 業績ハイライト
- 4 Topics
- 5 会社概要



社長メッセージ

Vision 2030の実現に向け、

未来への「成長を仕込む」

第2次中期経営計画初年度がスタート



第2次中期経営計画の進捗状況とその先の展望について

第2次中期経営計画を5月に公表し、半年が経過しましたが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化やエネルギー・原材料価格の上昇、中国経済悪化による影響など、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような環境の中、パソコンやスマートフォンなどの最終製品の需要減速により半導体市況が悪化したことで、半導体関連製品の販売が減少。また、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）拡大に起因する巣ごもり需要が一巡したことで、前期は高水準にあった液晶パネルディスプレイ関連製品の販売も減少しました。一方、シネマや一般映像などのVisual Imaging事業では、前期は新型コロナの影響に加え、主要部材の調達不足により主力製品であるデジタルシネマプロジェクター（以下、DCP）の生産・販売が想定を下回って推移し、部材調達コストの高騰による収益率の悪化も生じたため、大変厳しい状況でしたが、当上期は、部材不足の問題の緩和が進んだことで、映画館における過去に設置したDCPの置き換え需要を取り込むことができ、販売が増加しました。また、以前より進めてきたサプライチェーンマネジメント改革が功を奏し、業績は順調に回復傾向にあります。その結果、中期経営計画1年目となる2024年3月期第2四半期の業績は、売上高は850億円（前年同期比3.4%減）、営業利益は49億円（前年同期比50.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は42億円（前年同期比55.2%減）となりました。

下期を展望しますと、当上期の市況環境の継続が想定され、特に半導体分野において市況悪化が続くと見えています。一方、順調に業績回復が進んでいるVisual Imaging事業での増収に加え、経費コントロールなどの追加施策を実施することで、期初に掲げた通期業績予想は維持し、達成を目指します。なお、足元で市況環境の悪い半導体分野ですが、中長期的には、IoTや5G、AIの進展による最終製品の需要増加や技術の進化など、確実に成長が見込める分野のため、引き続きウシオの「光」が半導体の最先端技術の進化を支え、貢献できるよう、将来に向けた成長・戦略投資は計画通り拡大していきます。

今後も、投資家の皆さまのご期待に応えていけるよう取り組んでまいります。

「統合報告書(Ushio Report 2023)」発行について

「統合報告書(Ushio Report 2023)」を10月2日に発行しました。統合報告書の作成は、今年で6年目となります。今年は、Vision 2030の達成に向けた重要課題として定めている「5つの経営のフォーカス」の取り組みの進捗状況のほか、特に人的資本にフォーカスし、Vision 2030がどのように社員に浸透し、かつウシオの文化が受け継がれているのかを社員が語る特集を掲載しています。また、トップメッセージ、第1次中期経営計画の振り返り及び第2次中期経営計画のサマリーに加え、将来の様々な社会課題解決にウシオの「光」が貢献し、より大きな社会価値を生み出すべく進めている事業創出の進捗やガバナンス体制の強化など、ウシオの最新の取り組みを1冊にまとめたものとなっています。是非、ご一読いただき、忌憚のないご意見をいただければと思います。

最後にお知らせとなりますが、8月に当社Webサイトの「投資家情報」サイトをリニューアルしました。今まで以上に、ステークホルダーの皆さまにスピーディー、かつ分かりやすく情報をお届けできるよう更新しております。また、開示情報を適時お届けするIRメール配信サービスも導入しましたので、ぜひご登録いただけますと幸いです。

代表取締役社長

内藤 宏治



統合報告書
(Ushio Report 2023)



投資家情報

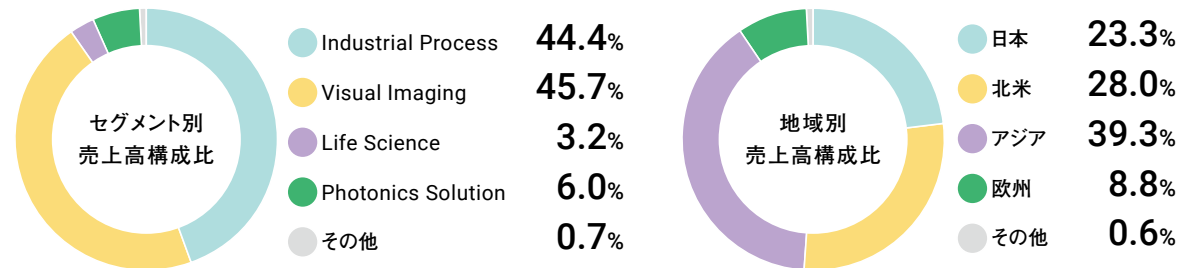


IRメール配信
サービスへのご登録

業績ハイライト (2023年4月1日～2023年9月30日)

売上高 **850** 億円営業利益 **49** 億円

(前年同期売上高 879億円 営業利益 101億円)



	Industrial Process 2022.9▶2023.9	Visual Imaging 2022.9▶2023.9	Life Science 2022.9▶2023.9	Photonics Solution 2022.9▶2023.9	その他 2022.9▶2023.9
売上高	473億円 ▶ 377 億円 ▼	322億円 ▶ 388 億円 ▼	27億円 ▶ 26 億円 ▼	46億円 ▶ 50 億円 ▼	9億円 ▶ 6 億円 ▼
セグメント利益・損失	109億円 ▶ 39 億円 ▼	20億円 ▶ 30 億円 ▼	△28億円 ▶ △11 億円 ▼	0億円 ▶ △7 億円 ▼	△1億円 ▶ △1 億円 ▼

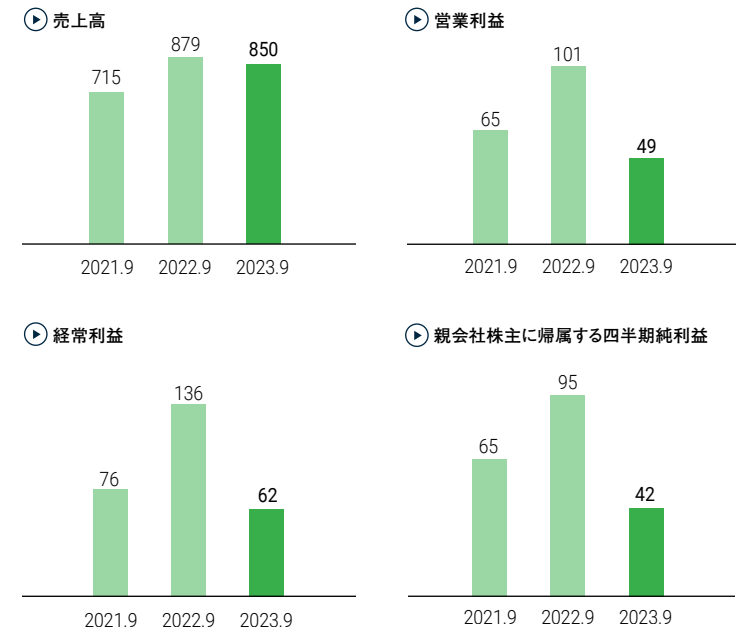
Industrial Process事業 半導体やフラットパネルディスプレイなどのエレクトロニクス分野が中心	主な製品 ・露光用ランプ、OA用ランプ ・最先端ICパッケージ基板向け投影露光装置 ・ダイレクトイメージング露光装置	露光用ランプは、半導体や液晶パネルの需要が低調なまま推移していることから、販売が減少しました。また、半導体市場の悪化による投資スケジュールの先送りや、今期の売上見込みが下期に集中している影響もあり、各種露光装置の販売も減少しました。その結果、前年同期比で減収減益となりました。
Visual Imaging事業 映画館やアミューズメントパーク、イベントなどの映像演出が中心	主な製品 ・デジタルシネマプロジェクター ・一般映像用プロジェクター ・映像周辺機器	映画館向けデジタルシネマプロジェクターは、部材不足の緩和やサプライチェーンマネジメント改革が順調に進み、販売が増加しました。一般映像分野では、イベント再開等による需要が堅調に推移したほか、大型案件が検収でき、映像関連装置の販売が増加しました。その結果、前年同期比で増収増益となりました。
Life Science事業 環境衛生や医療分野向けに光源及び装置を展開	主な製品 ・抗ウイルス・除菌技術「Care222®」搭載製品 ・紫外線治療機器	環境衛生向けの「Care222®」搭載製品の販売が減少したことにより、減収となりました。一方、前第2四半期に計上した棚卸資産評価損が発生しないことや戦略変更による販売の選択と集中により投資を抑制したことから、前年同期比で増益となりました。
Photonics Solution事業 幅広いアプリケーション向けに固体光源(LEDやLD)をデバイスからモジュールまで展開	主な製品 ・固体光源(LED/LD) ・レーザーモジュール	研究開発用途で顕微鏡向けレーザーモジュールの販売が増加したことにより、増収となりました。一方、将来のアプリケーション拡大に向けた開発費等の戦略的拡大により、前年同期比で減益となりました。

※ 2024年3期より、事業セグメントを変更しています。

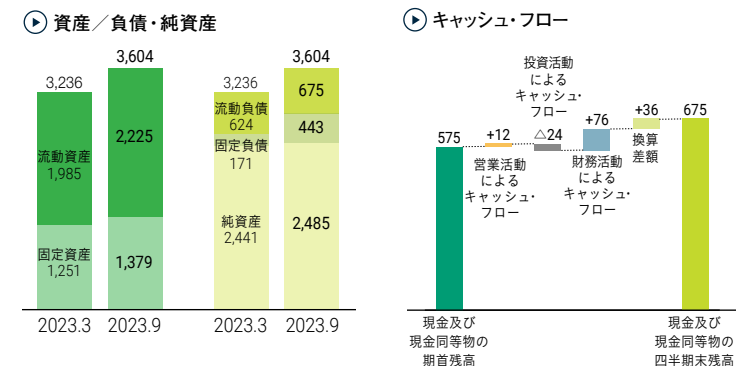
※ 本資料の数値は第2四半期累計としています。また売上高は外部顧客への売上高を記載しています。

※ 本資料では、切捨てによる億円単位で表記しています。

売上高・損益の推移 (億円)



資産／負債・純資産、キャッシュ・フローの推移 (億円)

決算情報の詳細は当社Webサイトに掲載しています: <https://www.ushio.co.jp/jp/ir/>

Topics

2023年6月～11月にかけてのニュース

6月

・ GPIFが新たに採用する「Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index」の構成銘柄に選定

・ 「SOMPOサステナビリティ・インデックス」構成銘柄に12年連続で選定

PICK UP 2

・ ウシオライティングが8インチ対応のプロキシミティ露光装置の販売を開始

7月

・ ウシオの高出力700nm帯レーザーダイオードが、LASER World of PHOTONICS Innovation Award 2023のQuantum Technology部門にて最優秀賞を受賞

8月

・ 「FTSE4Good Index Series」に20年連続で選定

PICK UP 2

9月

・ 世界唯一の技術である「半導体フォトカソード電子ビーム」の総代理店契約を締結

PICK UP 1

・ MSCI ESG Ratingsにおいて初の「AA」評価を獲得

PICK UP 2

10月

・ 「統合報告書 (Ushio Report 2023)」を発行

・ 高出力を可能にする縦型AlGaIn系深紫外 (UV-B) 半導体レーザーを世界で初めて開発

・ ウシオが開発したエキシマランプが侵略的外来水生植物の対策技術として滋賀県の「令和5年度水草等対策技術開発支援事業」に採択

11月

・ 医療・ライフサイエンス分野での試薬及び機器の開発・販売でタカラバイオ株式会社と包括的業務提携

お知らせ

弊社名誉相談役

牛尾治朗の逝去について

ウシオ電機株式会社創業者及び名誉相談役であり、公益財団法人ウシオ財団設立者の牛尾治朗は、2023年6月13日(火)に、誤嚥性肺炎のために逝去いたしました。ここに生前のご厚誼に深く感謝するとともに謹んでお知らせ申し上げます。

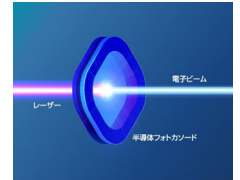
PICK UP 1

世界唯一の技術である「半導体フォトカソード電子ビーム」の総代理店契約を締結

近年、微細化や多層化が進む半導体の製造における検査領域において、検査時間の長期化による生産性及び検査精度の低下が課題となっています。ウシオは、その課題解決において、電子ビーム生成技術である「半導体フォトカソード技術」*1の開発に世界で唯一成功した株式会社Photo electron Soulが保有する、半導体フォトカソードシングル電子ビーム生成システムに着目し、電子ビーム方式半導体ウェハパターン検査装置に搭載される同システムの独占販売権を獲得。ウシオが持つ全世界での半導体検査装置用光源の販売網と各種半導体製造装置のメンテナンス体制を活かして、11月より半導体製造向けの検査装置メーカーや、半導体デバイスメーカーへの販売活動を開始しています。ウシオは今後も、半導体微細化進展などのインダストリアルプロセス領域の技術革新におけるボトルネックを改善する光ソリューション提案を通じて、便利・快適な社会の実現に「光」で貢献していきます。

*1 材料に光を照射することで、光のエネルギーにより電子ビームを取り出す技術。同技術を用いた電子ビームは、半導体検査領域のほか、電子顕微鏡、3Dプリンティングなどでの活用が見込まれています。

半導体フォトカソード電子ビームイメージ図



半導体フォトカソードにレーザー光を照射することで電子ビームを生成



PICK UP 2

ESG評価機関からの評価に対する当社ESG部門のコメント

ESG推進本部では、株主の皆さまをはじめ、各ステークホルダーの皆さまへの非財務情報の開示を積極的に行っています。また、重要テーマの一つとして、FTSEやMSCIなどのESG外部評価機関への対応も意欲的に進めています。

FTSE Russell ESG Ratingの評価は、2022年度3.2から2023年度は4.0へ、また、MSCI ESG Ratingsにつきましても2022年度「A」から2023年度「AA」へ向上しました。

ウシオは、GPIFが運用する国内株式を対象としたESG指数「FTSE Blossom Japan Index」「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」「MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)」「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」「Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index」の5つに選定されています。

今後も非財務情報の開示を通じて各ステークホルダーの皆さまとの対話を行い、エンゲージメントの向上につなげていきます。

*2 免責事項： <https://www.ushio.co.jp/jp/news/1005/2023-2023/501084.html>

*3 免責事項： <https://www.ushio.co.jp/jp/news/1005/2023-2023/501119.html>



Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index*2



SOMPOサステナビリティ・インデックス



MSCI ESG Ratings「AA」*3

会社概要 (2023年9月30日現在)

設立 1964年3月

資本金 19,556,326,316円

役員

代表取締役社長	内藤 宏治
代表取締役	川村 直樹
取締役	神山 和久
取締役	朝日 崇文
取締役	中野 哲男
社外取締役	金丸 恭文
社外取締役	橘・フクシマ・咲江
社外取締役	佐々木 豊成
社外取締役	松崎 正年
社外取締役	間下 直晃
取締役(常勤監査等委員)	小林 敦之
社外取締役(監査等委員)	杉原 麗
社外取締役(監査等委員)	須永 明美
社外取締役(監査等委員)	有泉 池秋

従業員数

ウシオ電機本体	1,735名
国内連結子会社	768名
海外連結子会社	2,986名
合計	5,489名

発行:ウシオ電機株式会社

コーポレートコミュニケーション部

〒100-8150 東京都千代田区丸の内1-6-5

TEL: 03-5657-1007 FAX: 03-5657-1020

<https://www.ushio.co.jp>



公式Facebook

<https://www.facebook.com/ushio.group/>

社長メッセージ

業績ハイライト

Topics

会社概要

5

🖥️ オフィシャルWebサイトもご活用ください



投資家情報

<https://www.ushio.co.jp/jp/ir/>



統合報告書 (Ushio Report 2023)

https://www.ushio.co.jp/documents/ir/library/ushioreport/ushioreport_2023/ushioreport_2023_j.pdf



サステナビリティ

<https://www.ushio.co.jp/jp/sustainability/>

株主メモ

証券コード	6925	株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月		〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 その他必要があるときはあらかじめ公告いたします。 なお、中間配当制度は採用していません。	〈郵便物送付先〉	
1単元の株式数	100株	〈電話照会先〉	0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
公告掲載URL	http://www.ushio.co.jp/kokoku ※ やむを得ない事由により上記URLにおいて公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	〈株式諸手続きのご案内〉	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
		〈よくあるご質問 (FAQ)〉	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

各種手続きに関するお問合せ先

お問合せの内容	一般口座 (証券会社の口座に記録された株式)	特別口座 (証券会社に口座のない株式)
・住所・氏名等の変更 ・配当金の受取方法の指定 ・単元未満株式の買取請求 ・相続	お取引の証券会社	三井住友信託銀行
・一般口座への振替	—	
・支払期間経過後の配当金		三井住友信託銀行